

# 平成28年度 栃木県環境マネジメントシステム（EMS）の全体評価について

〔H29.3.29 地球温暖化対策課〕

栃木県環境管理マニュアルの規定に基づき、今年度のEMSの運用状況、内部環境監査及び外部評価の結果を踏まえ、知事による全体評価を行い、次のとおり改善指示を行うもの。

【評価の対象期間】平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）

【EMS適用組織】全庁308所属

## I. 環境管理統括者（知事）による全体評価と改善指示

### 1. 全体評価

概ね適切。

### 2. 改善指示

次のとおり全庁に改善を指示すること。

- (1) 各所属に適用を受ける環境法令等については、その改正状況も含めて正確に把握した上で、遵守すること。
- (2) 各所属におけるエネルギー使用量等については、その増減理由と合わせて常時把握し、適切な対応をとること。
- (3) 次年度のEMS運用に当たっては、以下に留意すること。
  - ① 所属目標の達成については、個別の具体的な取組の有効性について十分に検証することが重要である。具体的な数値目標を掲げ取り組むことで、達成状況の把握やその後の対応策の検討が容易となるため、今後も多くの所属で検討すること
  - ② EMSの継続的改善を円滑に図るために、各所属における取組の成果を職員に広く周知すること。
  - ③ 中長期的な視点に立った計画的な省エネ改修や高効率機器の導入、燃料種転換について、各所属において検討すること。

なお、引き続き、職員一人ひとりが節電・省エネ及び省資源の取組を自主的に行ない、県庁の温室効果ガス排出量抑制を図るとともに、PDCAサイクルによる継続的な改善により、環境負荷の低減に努めること。

## Ⅱ. 平成28年度のEMSの取組状況

### 1. 目標の達成状況（取組状況）

#### （1）所属目標

全所属において最重要課題として取り組む所属目標を掲げ、実施計画を作成して目標達成に向け取り組んでいる。

多かった所属目標は「電気使用量の削減」「用紙使用量の削減」「廃棄物排出量の削減」

#### （2）実績の自己評価（中間評価）

全所属において、平成28年度上半期（4月～9月）の実績について自己評価を実施概ね適正に行われていると評価しているが、一部の所属において取組が不十分と評価

### 2. 環境法令等の遵守状況

各所属で適用となる環境法令（延べ28法令）等を遵守しながら事業遂行

### 3. 県民等からの要望及び苦情 EMSに関するものはなし

### 4. 自己点検による是正措置の状況 報告事例なし

### 5. 内部環境監査の結果

被監査所属（154課所室）に対する監査を実施。軽微な注意事項のみ7件

### 6. 外部評価の結果

外部評価委員会（委員3名）による全所属とEMS事務局の書類審査及び現地調査（18所属）に基づき評価及び改善提案を受けた

【評価結果】全体として概ね適切である

### 7. 前回の改善指示への対応状況

全て対応済み

### 8. 変化している周囲の状況

- ・「栃木県環境基本計画」「栃木県地球温暖化対策実行計画」の改正（平成28年3月）
- ・省エネルギーの視点に立った設備の改修（県有施設省エネ加速化事業・28年度は5施設）